



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



長野市 飯綱高原
森の駅 Daizahoushi

伝説の巨人デーダラ法師(ダイダラボッチ)が、飯縄山に腰を下ろし足を踏ん張った際にできたといわれる大座法師池。古くから市民の憩いの場所として親しまれてきました。

湖畔に昨年オープンした、【森の駅 Daizahoushi】は、マルシェや絶景のカフェが人気のいわゆる道の駅。湖面に張り出した大きな木製デッキテラスは気分爽快。訪れた人々はひとときの避暑を満喫していました。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート「人材育成」③ 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景 (18) 城山周辺 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



概況 全産業

生産は4カ月ぶりの上昇 前年同月比は2カ月ぶりの低下

◇2023年6月の長野県鉱工業指数

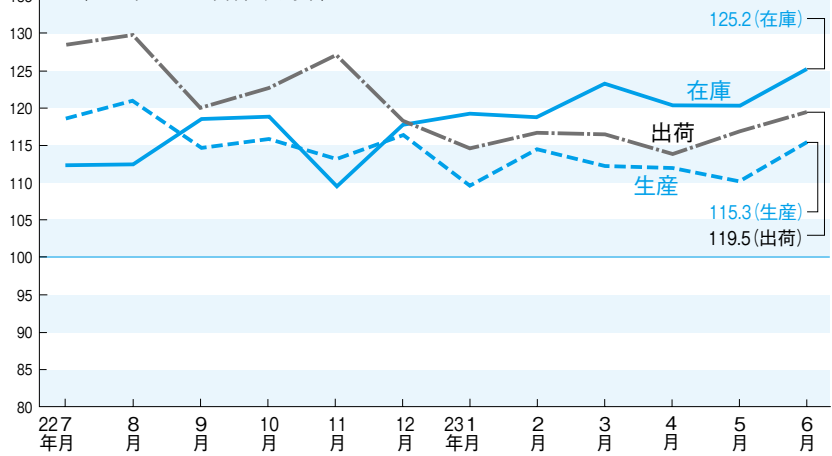
(速報：季節調整済指数)

生産は115.3(前月比+4.6%)で4カ月ぶりの上昇、出荷は119.5(同+2.2%)で2カ月連続の上昇、在庫は125.2(同+4.1%)で2カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は120.0(前年同月比▲2.1%)で2カ月ぶりの低下、出荷は125.2(同▲3.5%)で6カ月連続の低下、在庫は124.0(同+12.0%)で4カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…情報通信機械、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械など8業種
低下…電気機械、プラスチック製品、紙・紙加工品など8業種
- [出荷] 上昇…電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など9業種
低下…その他、電気機械、輸送機械など8業種
- [在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など11業種
低下…非鉄金属、紙・紙加工品、化学など5業種

月例調査

全産業の「売上高」は減少

前回調査 2023年6月

◇8月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(34

%)が3割減少、「減少」割合(29%)が横ばい、「不変」割合(37%)は3割増加、全体としては減少の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	変化	改善/悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	36.8 →	34.1 ↓	減少	悪化	193社	86.2%	72.0%	28.0%
製造業	23.0 ↓	39.3 ↑	増加	改善	182社	81.3%	74.2%	25.8%
建設業	32.8 ↓	42.6 ↑	増加	改善	61社	87.1%	86.9%	13.1%
卸小売業	35.9 ↑	33.3 ↓	減少	悪化	39社	83.0%	82.1%	17.9%
サービス業	50.0 ↓	50.0 →	不変	悪化	6社	75.0%	83.3%	16.7%
輸送業	50.0 ↑	12.5 ↓	減少	悪化	8社	80.0%	25.0%	75.0%
外食業	100.0 ↑	0.0 ↓	減少	悪化	7社	70.0%	42.9%	57.1%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(23%)が12%減少、「減少」割合(38%)が2%増加、「不変」割合(39%)が10%増加、全体として減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回		
	増加	不変	減少
	35.4	29.2	35.4
	増加 23.0	不変 39.3	減少 37.7
食料品	36.4	45.4	18.2
金属加工	15.4	38.4	46.2
一般機械	12.5	25.0	62.5
電気機械	16.7	83.3	0.0
自動車部品	0.0	33.3	66.7
精密機械	14.3	28.6	57.1

[業種別] 増加…食料品

減少…金属加工・一般機械・電気機械
自動車部品・精密機械

[機械稼働] (前回比)稼働率 下降

上昇割合 (23%) → 13%

下降割合 (14%) → 25%

[受注状況] 受注量 (前回比) 下降

増加割合 (22%) → 12%

減少割合 (14%) → 23%

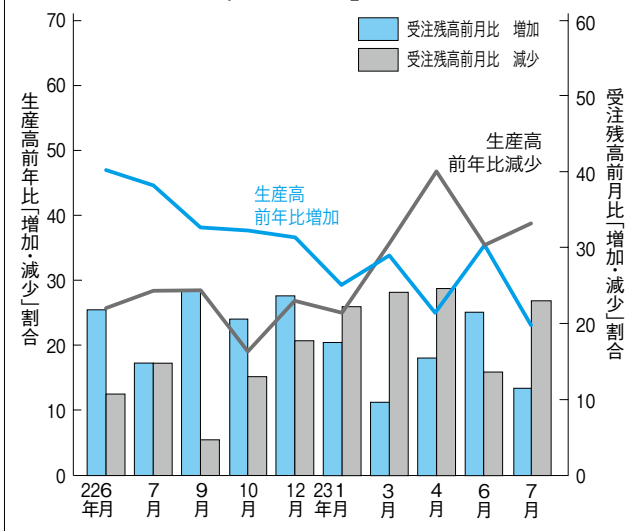
受注残高(1.8ヵ月) → 1.7ヵ月

[受注基調] (前回比) 下降

上昇割合 (26%) → 10%

下降割合 (17%) → 28%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)

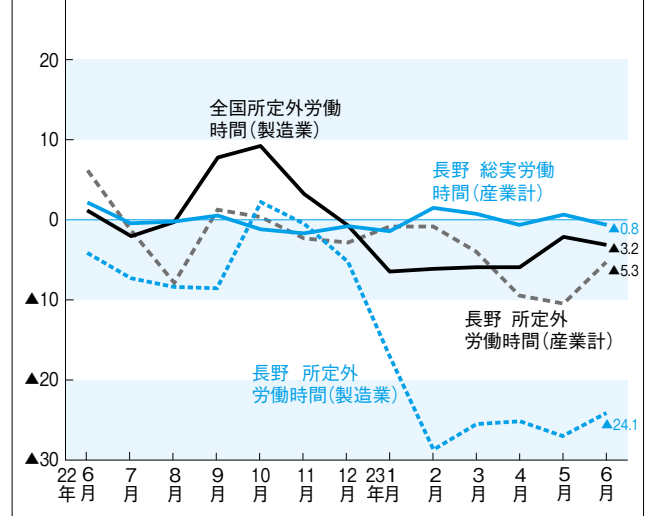


企業からのコメント

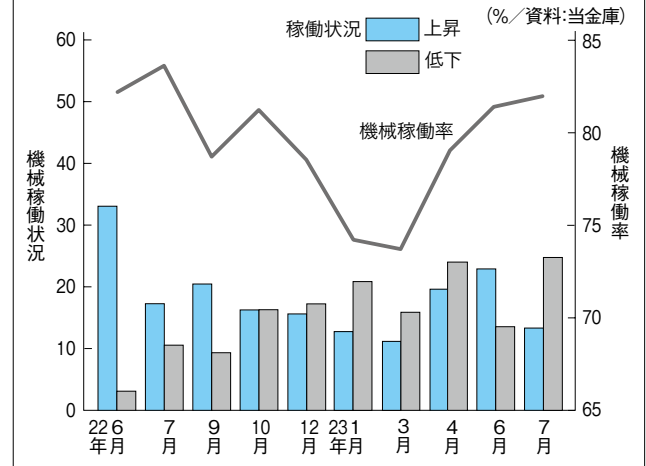
- ★今年のお中元商線は、弊社も含め全体的に盛り上がりなかった印象がある。これをコロナ前に戻っただけと見るかは、見極めが必要だと感じる。(乾そば)
- ★☆ヤマト運輸の運賃値上げ、そば粉・小麦粉の軒並みの価格上昇を背景に、カタログギフト商品の納入価格の引き上げに成功した。(そば製造)
- ☆コロナからの回復以降、受注は安定してきた。今まで、部品調達の遅れで苦戦したが、ようやく部材も順調に入手が可能となり、顧客の要望に答えられるようになってきた。(投影器)
- ☆★受注状況は変わらないが、値上げの話がまだあり、今後、価格への転嫁が課題となる。(コンプレッサー)
- ★依然として、不透明な状況が続いている。(電子部品)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(%)資料:長野県・厚生労働省



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築が増加するも、全体は減少

概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33%)が6割減少、「減少」割合(25%)が2割減少、「不変」割合(43%)が7割増加、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	38.5	35.3	26.2
	今回	増加 32.8	不変 42.6	減少 24.6
総合建設業		55.6	33.3	11.1
土木工事業		8.3	33.4	58.3
建築業		28.6	47.6	23.8
各種設備業		27.3	54.5	18.2

【業種別】 増加…総合建設・建築
減少…土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 減少
「多い・適正」割合 (78%) → 73%
「少ない」割合 (22%) → 27%

4～7月の公共工事 (東日本建設業保証取分)

長野県の4～7月の発注合計は、1,174.1億円(前年同期比+15.2%)となりました。前年比プラスは「県」の350.5億円(同+8.9%)、「その他」の351.1億円(同+56.4%)、マイナスは「市町村」の289.6億円(同▲1.0%)でした。

北信地区市町村の発注合計は112.1億円(同+43.4%)で、うち長野市は54.2億円(同+41.7%)でした。

●建設業保証取分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2023年7月/2023年4月～7月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2023年7月	前年同月比	2023年4月～7月	前年同期比
長野県	国	6,238	+110.6%	18,188	+4.3%
	県	3,931	▲13.8%	35,048	+8.9%
	市町村	9,024	+29.5%	28,965	▲1.0%
	その他	3,402	+216.9%	35,107	+56.4%
	合計	22,671	+45.3%	117,408	+15.2%
北信地区	市町村	2,739	+35.8%	11,208	+43.4%
	(内長野市)	2,048	+41.0%	5,418	+41.7%

4～7月の新設住宅着工戸数

長野県の4～7月の新設住宅着工戸数は3,948戸(前年同月比▲2.5%)でした。持家が2,263戸(同▲2.2%)、貸家が1,042戸(同▲5.7%)、分譲が635戸(同+2.1%)、給与が8戸(同+14.3%)です。

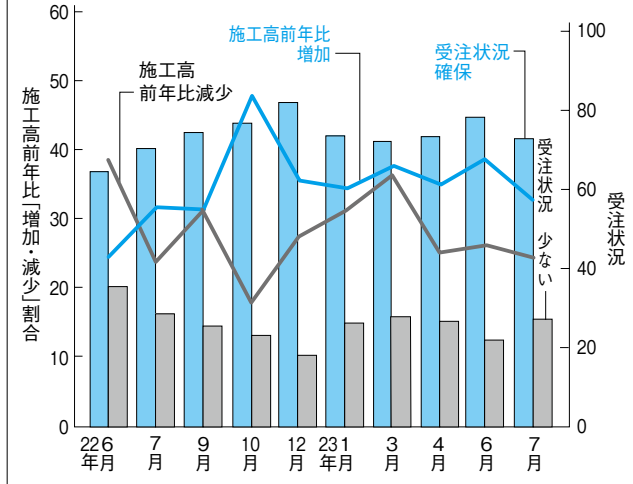
北信地区の4～7月の新設住宅着工戸数は1,063戸(同+16.2%)でした。持家が542戸(同▲1.3%)、貸家が333戸(同+61.1%)、分譲が185戸(同+25.3%)、給与が3戸(同+50.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2023年7月/2023年4月～7月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	7月	130戸	80戸	24戸	1戸	235戸
	(内長野市)	84戸	46戸	15戸	1戸	146戸
	前年同月比	▲23.7%	▲24.5%	▲49.0%	——	▲27.2%
	(内長野市)	▲25.7%	▲55.8%	▲51.6%	——	▲41.1%
	4～7月	542戸	333戸	185戸	3戸	1,063戸
前年同期比	▲1.3%	+61.1%	+25.3%	+50.0%	+16.2%	
長野県	7月	610戸	303戸	126戸	2戸	1,041戸
	前年同月比	+4.6%	+0.3%	▲10.6%	皆増	+1.5%
	4～7月	2,263戸	1,042戸	635戸	8戸	3,948戸
前年同期比	▲2.2%	▲5.7%	+2.1%	+14.3%	▲2.5%	

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移(資料:当金庫)



企業からのコメント

- ★公共土木工事、民間建築工事ともに受注は低迷。施工高も対前年比で大幅に減少している。特に、民間の新築案件が非常に少なくなり問題である。
- ★大手建売業者も、ここにきて売り足が鈍く、全体的に業界の動きが悪いように思う。(総合建設業)
- ★☆今後は、価格転嫁と選別受注(利益率と労働装備率の確保)を全社的に推進して行く。(内装業)

卸小売業

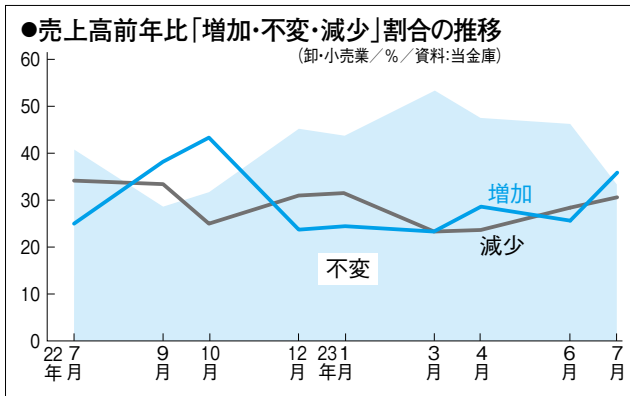
卸売業、小売業

「売上高」小売が増加、卸売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(36%)が10ポイント増加、「減少」割合(31%)が3ポイント増加、「不変」割合(33%)が13ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	25.6	46.2	28.2
	今回	増加 35.9	不変 33.3	減少 30.8
卸売業		38.9	22.2	38.9
小売業		33.3	42.9	23.8



【業種別】 増加…小売業 減少…卸売業

7月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……107.1 (23カ月連続プラス)

(前月比+0.9%、前年同月比+3.4%)

上昇…「教養娯楽」「交通・通信」「家具・家事用品」

「食料」「被服及び履物」「保健医療」

下落…「光熱・水道」

◇生鮮食品を除く総合指数…106.8 (24カ月連続プラス)

(前月比+0.7%、前年同月比+3.3%)

企業からのコメント

★とにかく暑すぎて、義理のあるところへの利用はあるが、人の動きが悪い。そうなると、小売業の売上が落ちるのは道理だと思う。(和洋菓子)

★完全に消費が落ちているし、業界全体に動きがない。(花鉢卸)

☆イベント等の復活や地域の祭りも各地で開催されるようになり、売上がプラスになった。(繊維製品卸)

★☆大手中古車販売店の不正問題が、一般の中古車販売店にどのような影響を及ぼすか注視していく。

(自動車販売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送・外食が増加、サービスは減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は7ポイント減少の50%、「減少」割合は横ばいの0%、「不変」割合は7ポイント増加の50%と、売上は減少の状況です。

輸送業 売上げ高前年比「増加」割合は17ポイント増加の50%、「減少」割合は7ポイント減少の38%、「不変」割合は10ポイント減少の13%と、売上は増加の状況。タクシー、運輸はともに増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は25ポイント増加の100%、「減少」割合は13ポイント減少の0%、「不変」割合は13ポイント減少の0%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比7ポイントの増加、前年同月比は17ポイントの増加で、宿泊利用は増加しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は25ポイント増加の25%、「引合いやや増加」が5ポイント増加の25%でした。

企業からのコメント

★燃料元売への補助金が徐々に減額されて、軽油価格が上昇を続けており、収益を圧迫する状況が続いている。(トラック輸送)

★台風の影響によるキャンセルが相次いでいる。さらに、人手不足により合宿等の団体客をお断りするケースも発生している。(観光ホテル)

★建築費が高いため、新築の物件は高額傾向。結果として不動産の動きは鈍化している。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	57.1	42.9	0.0
	今回	増加 50.0	不変 50.0	減少 0.0
輸送業	前回	33.3	22.3	44.4
	今回	50.0	12.5	37.5
うちタクシー業		100.0		0.0
うち運輸業		42.9	14.2	42.9
外食業	前回	75.0	12.5	12.5
	今回	100.0		0.0

若手の人材育成に「重要なこと」

「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」67% 「社員相互のコミュニケーション能力を高める」37%
 「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」各28%
 「仕事の厳しさから忍耐力をつける」17%

人材確保の方法として「活用しているもの」

「ハローワークへの求人」67% 「知人等の紹介依頼」31% 「人材サービス会社の利用」19%
 「自社ホームページへの掲載」14% 「就職情報誌・新聞等の求人広告」13%

企業アンケート
「人材育成」 ③
 2023年6月調査

若手の人材育成に「重要なこと」 上位5項目は、「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」67%、「社員相互のコミュニケーション能力を高める」37%、「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」と「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」は同率の28%、「仕事の厳しさから忍耐力をつける」17%でした。

人材確保の方法として「活用しているもの」 上位5項目は、「ハローワークへの求人」67%、「知人等の紹介依頼」31%、「人材サービス会社の利用」19%、「自社ホームページへの掲載」14%、「就職情報誌・新聞等の求人広告」13%でした。

「コミュニケーション能力を高める」(37%)、「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」と「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」(ともに28%)、「仕事の厳しさから忍耐力をつける」(17%)が2桁となり、「特になし」は7%でした。

従業員規模で見ると、30人未満の「特になし」(9%)が7割、30人以上より高く、30人以上は「社員相互のコミュニケーション能力を高める」(56%)が2割、経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」(36%)が1割、社員間の競争を通じて向上心を高める」(10%)が6割、「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」(32%)が5割、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

製造業 「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」(75%)、「社員相互のコミュニケーション能力を高める」(48%)、「社員間の競争を通じて向上心を高める」(8%)は他業種に比べ最も高くなっています。

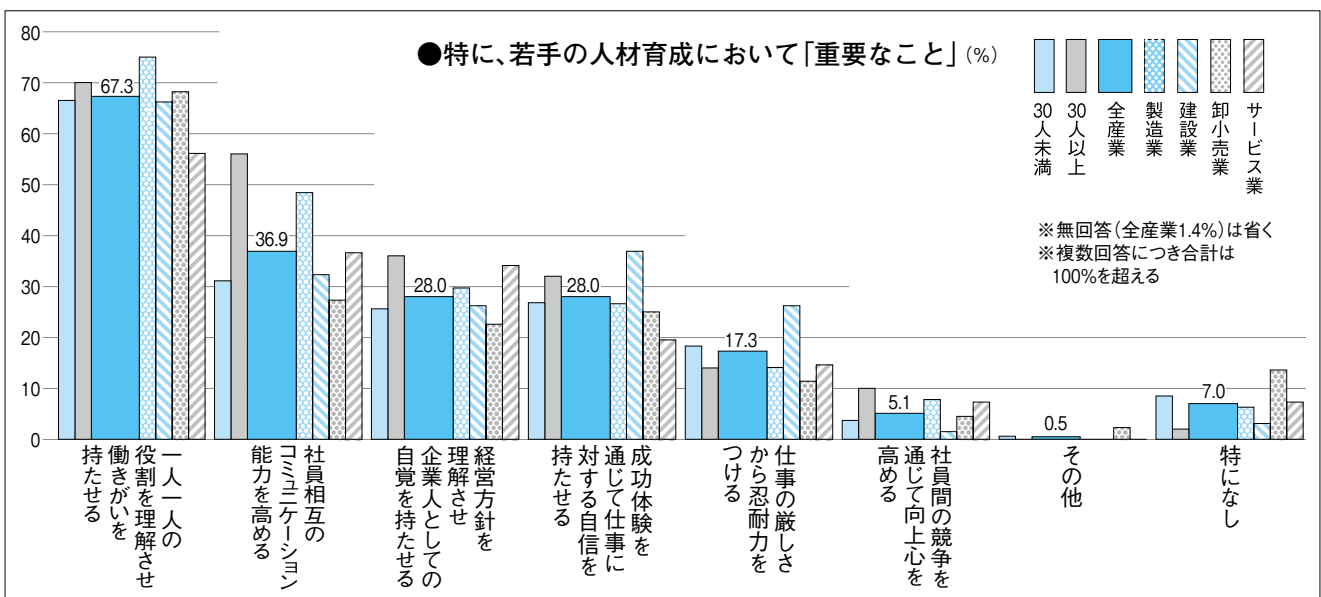
建設業 「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」(37%)、「仕事の厳しさから忍耐力をつける」(26%)は他業種に比べ最も高く、他方「特になし」(3%)、「社員間の競争を通じて向上心を高める」(3%)、

若手の人材育成に「重要なこと」

「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」67%
 「社員相互のコミュニケーション能力を高める」37%
 「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」28%
 「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」28%
 「仕事の厳しさから忍耐力をつける」17%

「若手の人材育成において重要なこと」を聞きました。

「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」(67%)がトップで、「社員相互のコミュニケー



る」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「特になし」(14%)は他業種に比べ最も高く、他方「社員相互のコミュニケーション能力を高める」(27%)、「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」(23%)、「仕事の厳しさから忍耐力をつける」(11%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「経営方針を理解させ企業人としての自覚を持たせる」(34%)は他業種に比べ最も高く、他方「一人一人の役割を理解させ働きがいを持たせる」(56%)、「成功体験を通じて仕事に対する自信を持たせる」(20%)は他業種に比べ最も低くなっています。

人材確保の方法として「活用しているもの」

- 「ハローワークへの求人」67%
- 「知人等の紹介依頼」31%
- 「人材サービス会社の利用」19%
- 「自社ホームページへの掲載」14%
- 「就職情報誌・新聞等の求人広告」13%

「人材を確保する方法として、現在活用しているものは何か」を聞きました。

「ハローワークへの求人」(67%)がトップで、以下「知人等の紹介依頼」(31%)、「人材サービス会社の利用」(19%)、「自社ホームページへの掲載」(14%)、「就職情報誌・新聞等の求人広告」(13%)が2桁となりました。

従業員規模で見ると、30人未満の「知人等の紹介依頼」(34%)が10割、30人以上より高く、30人以上は「人材サービス会社の利用」(42%)が3割、

「ハローワークへの求人」(82%)が19割、「合同会社説明会の利用」(16%)が16割、「自社ホームページへの掲載」(24%)が13割、「就職ポータルサイトの活用」(10%)が9割、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

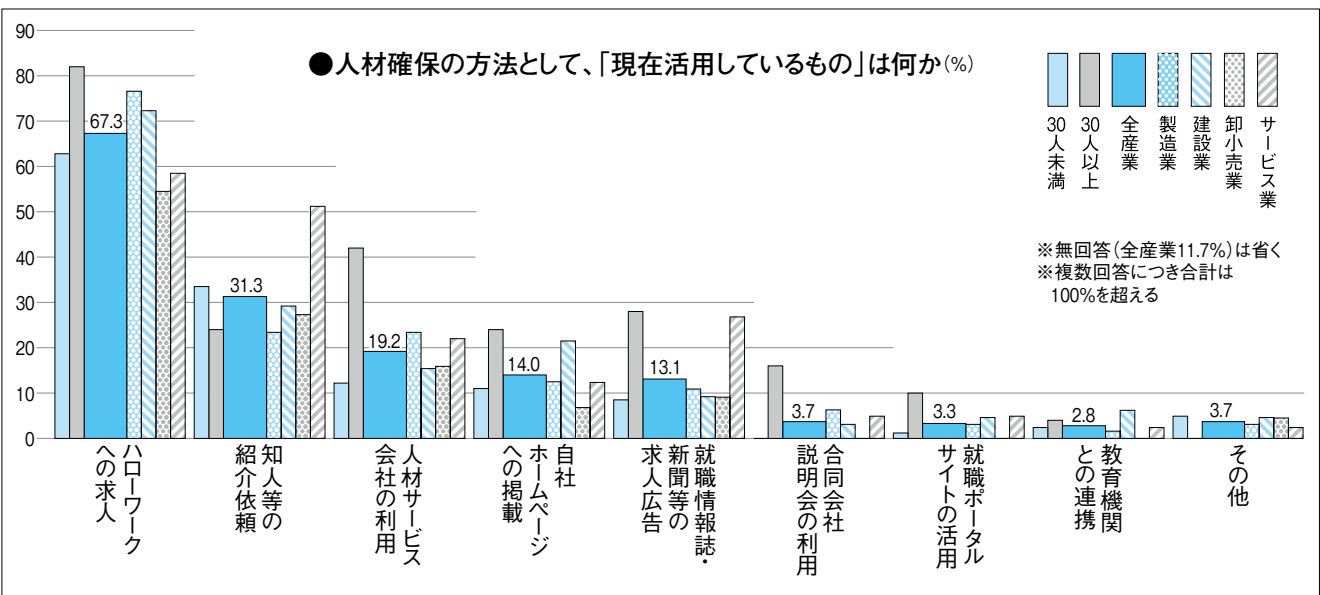
製造業 「ハローワークへの求人」(77%)、「人材サービス会社の利用」(23%)、「合同会社説明会の利用」(6%)は他業種に比べ最も高くなっています。他方「知人等の紹介依頼」(23%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「自社ホームページへの掲載」(22%)、「教育機関との連携」(6%)、「就職ポータルサイトの活用」と「その他」(どちらも5%)は他業種に比べ最も高く、他方「人材サービス会社の利用」(15%)、「就職情報誌・新聞等の求人広告」(9%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「その他」(5%)は他業種に比べ最も高く、他方「ハローワークへの求人」(55%)、「就職情報誌・新聞等の求人広告」(9%)、「自社ホームページへの掲載」(7%)、「合同会社説明会の利用」、「教育機関との連携」、「就職ポータルサイトの活用」(それぞれ0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「知人等の紹介依頼」(51%)、「就職情報誌・新聞等の求人広告」(27%)、「就職ポータルサイトの活用」(5%)は他業種に比べ最も高く、他方「その他」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「ポストコロナの企業経営」を予定





この仕事に“自負”を持って、
業界を盛り上げていきたい

株式会社 ふるさと石産
代表取締役 小橋浩樹さま

●創業の経緯をお伺いします…

江戸時代は川魚の漁業でした。明治から昭和20年代頃まで高祖父、曾祖父ともに荷車での運送業もしていました。創業者である私の祖父、小橋祀が1947(昭和22)年に戦地より復員。千曲川の砂利を採取して販売する小橋商店を創業したのが始まりです。当時は、フルイなどを使っただけの全てが手作業でしたが、昭和36年頃から効率よく作業を進めるため、ドレージャーという機械を河原に持ち込み採取を始めました。

昭和39年に河川法が大幅に改正され、昭和45年4月から河川内での洗浄選別採取が出来なくなることから、昭和42年に豊野町蟹沢に砂利プラントを建設、昭和45年には(有)小橋商店に組織変更をしました。

1996(平成8)年には、(株)ふるさと石産に社名変更。私は、小橋というオーナー名を会社名から取り除きたかったからです。小さな企業は、従業員も経営者も「一蓮托生」^{いちれんたくしょう}だと思い、良い時も悪い時も“もろとも”だと考えていました。そこで、豊田村が生まれ在り所ですから、唱歌『故郷』^{ふるさと}にあやかって会社名として現在にいたっています。

●社長になられた経緯をお聞きします…

1986(昭和61)、私が大学4年のときに先代である父が50歳で亡くなり、母が代表になりました。母を助けるべくこの年に私も入社して専務として働き始めました。そして父の年齢を超えたことからボチボチ交代といわれ2016(平成28)年に、私が代表に就任しました。

私は、小学校から大学まで野球をやってきました。現在も母校の野球部のコーチをしています。よその会社で修業もせず経営の何たるかも

分からない中、野球部の組織運営戦略だけが自分の持ち得ていた経営方針でした。多くの失敗もりましたが、野球を通じた人間関係やフェアプレーの精神が大いに仕事に生かされていると思っています。

●事業の概要をお聞きします…

建設資材の砂利や砂、碎石などの「骨材」を製造販売しています。砂利と砂は「生コン用」、碎石は「土木用」になります。

長野県には「(一社)長野県砂利碎石業協会」があります。北信には、千曲支部、長水支部・上高井支部・中高支部・飯山支部があり、26社ほどがどこかに加盟していて住み分けが出来ています。弊社では骨材の原石は千曲川を主とした河川砂利、中高地区の畑をお借りしての陸砂利を中心に採取しています。

採取した砂利は、洗浄と選別、サイズに分けて製品にします。生コン用の砂利は丸い天然のものが使われます。角があると生コンの流動性や施工性が悪くなるからです。ただし、天然の砂利には限りがありますから、大きな石を細かく破碎した碎石をミックスして数量を確保しています。碎石は角があるため生コンには不向きですが、出来るだけ角を取り天然の砂利に近づけられるよう最新の機械を導入しています。

機械の性能によって品質が多少違いますが、一番は“原料”になります。何といたっても河川砂利が一番良い原料です。しかし今までは、千曲川の砂利採取量の枠が少なく、年間採取量全体の2割ほどしか採取できませんでした。しかし令和元年の台風19号災害以降に行政の対応が変わり、災害の未然防止策として「もっと取りなさい」となりました。今まで河川砂利は、渇水期(12月～3月)にしか採取が認められませんでした。しかし前述の台風災害から通年で採取が認められ、河川砂利の確保が大幅に改善。おかげで、豪雪地であり河川災害に苦勞していた飯山での砂利採取が可能になりました。このように砂利採取事業が災害防止に有益な事業として国が認めてくれたことが、

業界のイメージアップにもつながっています。建設関連メディアでは“災害防止業”としてアピールさせてもらっています。

●“コロナ禍”の影響についてお聞きします…

私たちの業界では、コロナによる仕事量や売上げの減少はありませんでした。しかし、コロナによって他業種で職を奪われた人たちが入社してくれ、社員の平均年齢が60歳と高かったのですが僅かに下がりました。当社の業務はいわゆる「3K(きつい・汚い・危険)」の職場ですから求人を出しても、中々、若年層の人材が集まらないのが現状でした。コロナの影響で良い人材が確保できたのは想定外の出来事でした。

●今後の夢や方針についてお聞きします…

仕事は、社会(地域)の役にたつこと、また、生きるための手段で目的ではないと思っています。違う仕事があればそちらにシフトしても良いとも考えていますが、子どものころからプラントで砂利が落ちてくる音を聞いていて育って来ましたから、私にはとては心地好い音です。「超ローテク産業」「ガラパゴス産業」と揶揄されていますが、私はこの仕事が大好きです。

現在、組合の役職にも就いていますから、自分の会社だけが良くなるのではなく、砂利碎石業会全体が良くなればと思っています。この業界は建設業界においては底辺の仕事ですが「業界を支えているという自負があります」。建設の



北陸新幹線の開業により、移転したガソリンスタンドにあった「名物看板」を譲り受けて、会社入口に設置してあります

基礎を支えるこの仕事をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと考えています。

私も今58歳ですから、二年後に息子への継承も考えています。現在、農業団体の仕事をしていますが、農業の仕事との併設も視野に入れて進めていくことも良いのかな？ と考えています。



立ケ花プラント

●事業の概要

創業 1947(昭和22)年
 資本金 1000万円
 代表者 小橋浩樹
 従業員 15名(男13名・女2名)
 業務 コンクリート用骨材製造
 事業所 中野市上今井190

●沿革

1947(昭和22)年 小橋が小橋商店を創業
 1967(昭和42)年 豊野町に立ケ花砂利プラントを建設
 1970(昭和45)年 飯山市に桑名川砂利プラントを建設
 (小橋商店に組織変更)
 1979(昭和54)年 立ケ花プラント改修
 1982(昭和57)年 小橋篤社長就任
 1986(昭和61)年 小橋秀子社長就任
 1996(平成8)年 株ふるさと石産に社名変更
 2001(平成13)年 本社を現在地に移転
 2016(平成28)年 小橋浩樹社長就任

北信濃 明治時代の風景

(18)城山周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治30年(1897)10月に出版された善光寺周辺の案内書、『善光寺^{ひとり}独案内』の挿絵を紹介しします。すでに活版印刷の時代になっていたのです。これは長野市で出版された最後の木版本です。今回は長野市の城山周辺の図です。

城山

中央の「城山県社」のある丘陵が城山で、標高は426mほどあります。西側にある善光寺本堂(標高406m)からは20m高いだけですが、東側の長野電鉄本郷駅(標高376m)から見ると高さ50mもある小山です。南北に連なっており、人が仮寝(うたた寝)をする姿を思わせることから、仮寝が岡という別称があります。戦国時代までは山城として用いられ、川中島合戦の折には上杉謙信が陣を置きました。

江戸時代には、その本丸跡とされる高台に毘沙門堂がまつられていました。また眺望のよさから、善光寺大勧進の別荘や料亭があつて、文人たちの会合に利用されました。

城山県社

明治以降は毘沙門堂の跡に「城山県社」がまつら

れました。明治政府の神仏分離令により、善光寺本堂の背後にあった年神堂を善光寺から分離し、城山にまつた神社です。つまり善光寺の神社の部分を独立させてできた神社です。平安時代の『延喜式』に見える「健御名方富命彦神別神社」の後身とされ、その社号を名乗りましたが、難しい社号なので一般には「城山県社」と呼ばれました。現在は「水内大社」と通称されています。明治17年(1884)に社殿が落成したので、その年に諏訪大社にならって御柱祭が行われました。善光寺の周辺では、水内大社、妻科神社、武井神社、湯福神社の4社が持ち回りで御柱祭を行う伝統があり、昨年令和4年には水内大社で24年ぶりに御柱祭が行われました。

城山館

現在の城山公民館の場所にあった公会堂です。明治19年(1886)に建設されて民営でしたが、明治30年(1897)に長野市が発足すると、翌31年に長野市が購入し、公会堂として利用されました。1階の144畳敷きの大広間では演説会や集会が催され、明治29年(1896)には福沢諭吉が、明治32年



『善光寺独案内』の城山周辺の図



旧北国街道沿いにある時丸寺

(1899)には伊藤博文が、それぞれ演説をしています。2階からの展望も売り物で、5銭の観覧料を取って入場させていました。

こうした歴史のある城山館でしたが、昭和24年(1949)に焼失し、代わって昭和29年(1954)に鉄筋コンクリート造りの長野観光館が建てられました。

別院

「城山館」の左に、「別院」が描かれています。これは明治18年(1885)に創建された真宗大谷派本願寺長野説経場です。現在の城山公園の一角にありましたが、明治41年(1908)に城山公園一帯で開催された一府十県連合共進会(産業博覧会)の折、敷地が会場となることから善光寺裏に移転し、現在は城山本願寺と呼ばれています。

長野学校

現在の城山小学校です。江戸時代にはここに善光寺宝林院の念仏堂がありましたが、明治5年(1872)に学制が公布されると、その建物を利用して長野学校が開かれました。翌年にはここに長野県教師講習所が設置されました。これが後に長野県師範学校となり、現在の信州大学教育学部に発展しました。明治29年(1896)にこの地に始まった長野高等女学校は、箱清水に校舎を新築して移転し、現在は長野西高校となっています。

北国街道

絵の下段に、両側に家々の連なる道路が描かれ

ています。これは新潟県に通じる旧北国街道です。北国街道は、丹波島の渡し(現丹波島橋)を渡るとほぼ一直線に北上して、現在の中央通りを經由して善光寺に突き当たります。善光寺前から右に折れた北国街道は、城山の丘陵に沿って南から東に回り込み、三輪地区を經由して吉田方面に向かいます。そのあたりでは現在は相ノ木通りと呼ばれています。

時丸寺

三輪8丁目にある曹洞宗の寺院です。善光寺四十九霊地の善光寺七寺の1つで、三輪時丸の伝説を伝えています。大和(奈良県)の三輪時丸は、死んだ後に閻魔大王の前に引き出されましたが、過去に善光寺に参拝していたことが明らかになり、この世に返されたという物語です。

美和神社

善光寺七社の1つで、『延喜式』に見える古い神社です。背後を北国街道が通っているのは、古来の道はこの神社の前を通っていましたが、江戸時代になって北国街道のルートが変わったからだと考えられています。鳥居は三輪鳥居と呼ばれる独特の様式で、この絵にも大きく描かれています。

10月号は「石堂町周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆「何歳まで就業」するのが望ましいか
 「65歳」31% 「60歳」20% 「70歳」12%

「あなたは何歳まで就業するのが望ましいと考えているか」を聞きました。

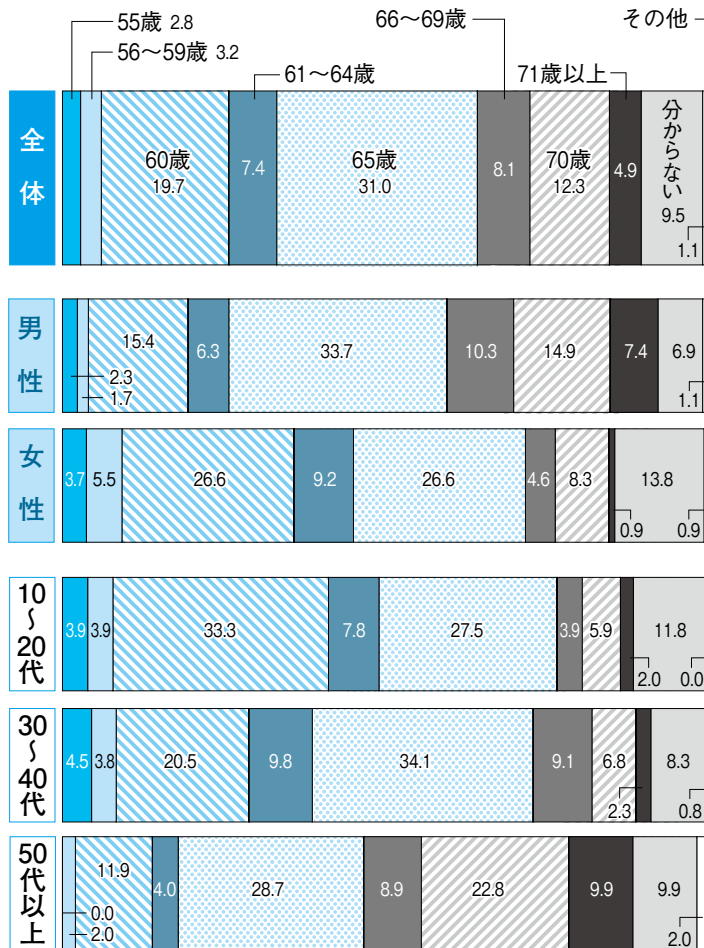
全体の上位を見ると、「65歳」31%、「60歳」20%、「70歳」12%、「分からない」10%の順になっています。

男女別で上位を見ると、男性は「65歳」34%、「60歳」と「70歳」がともに15%、「71歳以上」7%の順、女性は「60歳」と「65歳」がともに27%、「分からない」14%となり、男女別ではトップは65歳と同じですが、2位と3位は異なりました。

世代別で上位を見ると、10～20代は「60歳」33%、「65歳」28%、「分からない」12%ですが、30～40代は「65歳」34%、「60歳」21%、「61～64歳」10%、50代以上は「65歳」29%、「70歳」23%、「60歳」12%、「71歳以上」10%となり、回答者の年齢が上がるにつれて、望ましいとされる就業年齢も、上昇していく結果となりました。

〈当金庫・2023年6月調査〉

●「何歳まで就業」するのが望ましいと考えているか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [10月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
10月 3日	火 若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	10月18日	水 稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)
4日	水 太子町支店 (須坂支店・墨坂支店)	豊野支店	19日	木 中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
6日	金 石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	23日	月 大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
11日	水 本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	24日	火 本店営業部	古里支店 (吉田支店)
12日	木 篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	27日	金 本 部	
17日	火 長池支店 (大豆島支店)		30日	月 本 部	

